

# ほんじょ

<https://www.honjyo.or.jp>



公益社団法人 本所法人会

公益社団法人本所法人会 墨田区業平1-7-12 電話(3622)1090 発行者・大石恭寿 編集・広報委員会 下村 彰 印刷・株式会社キョーアート



花見鳥のさえずりに、



心躍る春

p2 | 企業訪問  
p4 | 厚生共益事業委員会・  
福利厚生受託  
保険会社共催 講演会  
| 青年部会新春研修会  
及び懇親会



心躍る春



p4 | 会社取引をめぐる  
税務研修会  
p5 | 女性部会  
新春講演会及び  
懇親会  
| 絵ハガキコンクール作品  
墨田区納税封筒  
印刷完成!



p7 | 公益事業委員会主催  
社会貢献活動  
チャリティクッキー  
焼き菓子販売  
| 本所  
| レトロ & ニュー喫茶探訪



p6 | 青年部会主催  
租税教室を実施  
| 源泉・税法研究部会、  
税制税務委員会共催  
経済税制講演会  
| 税金クイズ  
バスツアー



春  
2025  
Spring  
令和7年4月発行

# 企業訪問

オリジナルワークウェアで当社を支える  
100年超の技術を宣伝、  
アパレル業界外でも活躍の場を！

キップス株式会社

専務取締役 田中康雄さん



——事業内容を教えてください。  
一九一六年創業の、カットソーをメインとしたアパレル製品のOEM製造業です。僕で五代目です。創業当時は生地も作って

たのですが、後に縫製業に一本化。時代のニーズに合わせて、現在はレディスカットソー製造をメインとしています。  
僕は10年程前に入社。創業親族

ですが、当社を継ぐなんて考えはまったくなく、別の販売業に従事していました。年齢的にもバブル経済崩壊、リーマンショック等といった経済危機の経験もありません。それでも、縫製業は斜陽のイメージがあり、厳しい業種だと覚悟はしていました。実際に入社して感じたことは、経営がどうこうより、なんてファジーな世界なんだろう、という点。

仕事として発注する中に、ふわふわした言葉が多いんですね。ニュアンスとか感覚的な言葉で指示が来る。「ここ、もうちよつとふんわりさせたい」とか。数値に表せない抽象的な依頼。そこを感じ取って形に変える。随分不安定なビジネスだ、と思いました。感性で伝えてくることをいかに言語化してキャッチし、応える。仕様書が違っても、相手の求めるものを慮る力を磨けたと思っています。



「ReVessel」が提案するフラワーベース

入社3年目辺りで役員に。その頃から、東京ニットファッション工業組合や、フロントティアすみだ塾等のコミュニティに参加するようになりました。墨田区の同業者や経営者の方々と交流するようになって、経営者としてどうすべきかということも考えるようになった。そんなとき、八広のツバメ研磨工業所の専務さんと知り合いました。

ロゴ入りチームTシャツ等を製作し評判がよかったので、それなら、冬は長袖を！ 打ち合わせが増えるうちに何度か現場作業を見学させていただくことに。現場の方々と仲良くなっていくうちに、みんな作業着の同じようなところに穴があいていたり、生地が擦り切れていたりするのに気付きました。それなら生地に負担がかかる部分を補強したほうがいい。また、機械に巻き込まれる危険があるから規則では袖をまくってはいけない

いの、暑くてみんなまくっている。では、袖はもう少しフィットしたもの、通気性のよい生地にしたらどうだろう。

その現場ならではの課題を見つけ、機能をプラスしておかつセインスのよいものを、一社オリジナルの作業着を提案。現場の方々には非常に喜んでいただきました。

**OEMを支える技術×コンサル  
&新たな世界で活用**

現場にインタビューして、彼らが気付いていないことも含め提案して形にする。このコンサルティングに近い作り方は、我ながらおもしろい。当社のように中小企業の小回りがきく会社だからこそできる。大手企業と差別化が図れそう。さらに、この事例は、外に宣伝ができる！

納品枚数は少ないし、ひとつの製品に対し完成まで時間がかかり過ぎます。正直、利益は追及しづらい。でもこの事業は、SNS広報に活用できます。OEM製品ではできませんが、この事業は堂々と人に話すことができるんです。現場の方が着てくればそれも宣伝になるし、外で口にする事で勝手に広報活動してくれる。これは一石二鳥。そこに気づきました。以来、岩田屋商店さん



の前掛け、東向島珈琲店さんのオリジナルエプロンなどをカタチにさせていただきました。これら事業はOEMとは別に、カスタムワークウェアブランド「KIPSWorks」として動いています。

——新たなブランドも始動されていると伺いました。

銭湯&サウナブランド「OFFFLOWBUFFCOMPANYS(オフロバ)」も立ち上げました。僕が銭湯やサウナが大好きで、Tシャツやサウナハットといった、銭湯&サウナシーンにおすすぬ

グッズを提案しています。このブランドは当社だけの製品を揃えているのではありません。墨田区には多種多様なモノづくり企業が存在します。餅は餅屋、専門家に専門製品を提案してもらいたい。例えばサウナマットは、ウレタンの会社に参加してもらおうとか。他にも硝子や木材を扱う企業がある。このブランドを使ってさまざまな技術で遊んでもらえれば。また、使用済みのものに新たな目的を与えるプロダクト、「Revesseil(リヴェッセル)」もスタート。空のワインボトルをフラワーベースとして生まれ変わらせるニットカバーです。

ファッション、アパレル製品は、

別業種と親和性の高い業界だと思います。だからこそ、「OFFFLOWBUFFCOMPANYS」も「Revesseil」も、当社が挑戦する意味がある。我々の持つ技術の出口が、服である必要はないと考えています。OEM事業を守りつつ、既存の概念の外で当社の技術をどう活かすか。それが、当社の未来につながると思っています。

**女将の一言！**

仕事に自分の好きなことを混ぜる！  
友達と仕事をする！  
素晴らしく、仕事に対するモチベーションが上がりますね！  
真似したいなあと思います！



撮影／菅沢健治

**キップス株式会社**

1916年創業のOEMを中心とするアパレル製造企業。'62年田中メリヤス工業株式会社設立、'88年現社名、キップス株式会社。'19年TOKYO KNIT認証企業に認証、翌年にはイタリアで開催される見本市、PITTI UOMOに出展。以降、多くの展示会に参加している。

墨田区立川1-7-5  
Tel.03-6284-1331  
<https://kips-web.com/company/>  
<https://offlowbuff.base.shop/>



## 厚生共益事業委員会・ 福利厚生受託 保険会社共催 講演会

令和7年3月21日(金)  
東武ホテルレバント東京

本所法人会活動

厚生共益事業委員会・福利厚生受託会社(大同生命、AIG損保、アフラック)共催による講演会を開催致しました。

演題は「〜大規模災害時の補助金とリスクへの備え〜災害対応力アップセミナー」と題して、中小企業基盤整備機構 猿川明氏にご講演を頂きました。

講演会では、明日起きるかもしれない地震、水害、サイバー攻撃に備えについてご講演されました。講演会には44名のご参加を頂きました。



## 青年部会 新春研修会 及び懇親会

令和7年1月14日(火)  
本所法人会館2階会議室

本所法人会活動  
部会

小笠社会保険労務士事務所 小笠博子氏を講師にお迎えし、「労務管理とハラスメント」と題し、労務管理の基礎研修等のお話を中心にご講演を頂きました。終了後は、食事を楽しみながら懇親を深めました。



## 会社取引をめぐる 税務研修会

令和7年3月25日(火)  
本所法人会館2階会議室

本所法人会活動  
部会

公益事業委員会主催による、会社取引をめぐる税務研修会を開催致しました。役員の給与等、交際費等を中心に日常の経理処理や取引の注意点など本所税務署法人課税第1部門 青柳審理官様にご説明頂きました。48名にご参加頂きました。



# 女性部会 新春講演会及び懇親会

令和7年1月21日(火)  
東武ホテルレバント東京

本所法人会活動  
部会

第一部講演会は、講師に本所法人会女性部会会員(株)藤江 代表取締役 益子純子氏をお迎えして「日本の学校給食と食育について」をテーマにご講演頂きました。  
第二部の懇親会は、地元で活躍されているデュオ「Seed」高橋新吾氏、岡部芳枝氏のお二人による懐かしのフォークソングを聞きながら、フレンチのコース料理を楽しみました。



# 絵ハガキコンクール作品 墨田区納税封筒印刷完成!

本所法人会活動  
部会



封筒表面



封筒裏面

事の発端は、当会の大澤女性部会長が東法連の会合に出席したときのお話でした。武蔵野法人会の地元の市役所から、法人会女性部会が開催している絵ハガキコンクール入選作品を、納税する封筒に載せさせて頂けないかとの依頼があり、現在、絵ハガキの印刷された封筒を市民の皆様にお届けしているそうです。  
是非墨田区も子供たちの作品を区民の皆様目に触れてもらいたい日頃、絵ハガキコンクールでお世話になっている税務課に一昨年よりお願いをし、この度実現する運びとなりました。  
絵ハガキコンクールも第14回を迎え、毎年子供たちの素晴らしい作品に感動しております。  
この運動によって、子供たちが税金の大切さを学んで大人として正しい納税者になって頂きたいと願っております。今後、ペーパーレスの時代に入り、封筒印刷は難しくなりますが、出来る限り続けて頂ければ幸いです。



## 青年部会主催 租税教室を実施

令和7年1月16日(木)  
柳島小学校

本所法人会活動  
部会

柳島小学校において租税教室を実施致しました。  
津田租税教室委員長を含め6名がパネルやDVDを上映して、街づくりゲームを通じて税の種類や税金の大切さをわかりやすく説明致しました。



本所法人会活動  
部会

## 源泉・税法研究部会、 税制税務委員会共催 経済税制講演会

令和7年3月7日(金)  
本所法人会館2階会議室

源泉・税法研究部会、税制税務委員会共催 経済・財政講演会を開催致しました。昨年わかりやすいと好評だった(株)第一生命経済研究所 経済調査部 首席エコノミストで、日本FP協会専務理事の熊野英生氏を講師に迎え、『トランプ2.0の世界』『これからの日本経済、物価高、インフレ、関税etc.：私たちの生活はどうなる?』と題してご講演頂きました。講演ではトランプ政権が始まり景気情勢の見方、トランプ関税での物価の動向、為替相場等をふまえ今後のビジネスチャンス等をグラフや図を使って解説。54名の参加者に非常に好評でした。

本所法人会活動

## 税金クイズ バスツアー

令和7年3月8日(土)  
成田方面

公益事業委員会主催、恒例の税金クイズバスツアーを開催。今年度は成田山新勝寺、さわら散策コースの日帰り研修旅行となりました。  
あいにくのお天気ではありませんでしたが、昼食は成田で有名な川豊別館にてうなぎを堪能し、皆様に楽しんで頂けました。移動中の車内では税金クイズを実施しました。バス2台で65名のご参加を頂きました。





本所法人会活動

公益事業委員会主催  
社会貢献活動

チャリティクッキー焼き菓子販売

令和7年3月30日(日)  
東京ミズマチ そよかぜ広場

昨年に続き『春のそよかぜ つながるフェス』のイベント会場で墨田区内の身障者施設で作っている焼き菓子(クッキー、パウンドケーキ、マドレーヌ、あられ等)を販売し、墨田区福祉協議会に売り上げを全額寄付する活動を行いました。当初29日(土)の予定でしたが雨予報の為翌日に変更されました。当日は好天にも恵まれ会場はイベント等で賑わっており、用意した焼き菓子は2時間ほどで完売致しました。当日の売上金及び寄付の合計60,250円は墨田区社会福祉協議会に寄付致します。皆様のご協力ありがとうございました。



本所  
レトロ&ニュー喫茶探訪

vol.06  
チロル

懐かしくて新しい、すみだの魅力的な喫茶店&カフェをご紹介します

墨田区の南端、菊川駅と森下駅を結ぶ新大橋通り沿いに、真っ赤なテントが目立つ喫茶店「チロル」をご紹介します。

店先の花壇には色とりどりのお花やミモザが植えてあり、「珈琲ちろる」と彫られた木製のレトロな袖看板が温もりのある雰囲気を出しています。店内は白壁と木を基調とした内装に、観葉植物がいたるところにあり、壁面には富士山をはじめ山岳の写真が多数飾ってあります。店名のチロルの由来は、亡くなった旦那様が登山が大好きだったので、オーストリアとイタリアの山岳地帯の呼び名チロルから。お店の内装もチロルと山小屋をイメージされたそうです。

創業は66年前、店主の十字千娥子(じゅうじ ちかこ)様が22歳の時にご夫婦で開業されました。きっかけは旦那様が喫茶店をやりたいと言ったこと。とはいえ珈琲豆の仕入れ先もわからなかったため、東京駅名店街(現在の東京駅一番街)のアートコーヒーで働き始めました。当時身長が155cm以上でないといふと働かせてもらえなかったそうで、背筋をしゃんと伸ばして面接に挑んだのだとか。しばらく勤めた後、元花屋のしもた屋だった建物を喫茶店に改装し「チロル」を開業されました。しかし当時は喫茶店に入るだけで不良と言われる時代で、まばらにしかお客様が入らず、近隣の企業の方やタクシーの運転手さんが常連でした。

転機が訪れたのは昭和42年。建物を建て替え、二階建ての山小屋のような建物にし、吹き抜けに大きなスピーカーを入れたところ、大あたり。純喫茶ブームも相まって、

朝7時の開店から午前中だけで100~200人のお客様で大賑わい。ウェイトレスも6人いたそうです。平成2年に現在の建物に建て替えてからは、純喫茶ブームも少し落ち着きました。旦那様と一緒に働いていたのか聞くと「旦那は山やだから」と。登山が好きで外国にも行くほどだったそうで、お店には仲良くなった登山家の方々が来店するようになりました。店先の花壇を高くしているのは、山岳の重いリュックを置く時に腰を痛めないようにするためなんだとか。

スキーにも行っていたそうで、昔は木のスキー板と竹のスティックだったのが、スチールのスティックに買い替えたなら、スキー場でご飯を食べている間に持ってかれちゃったというエピソードも。18年前に旦那様が他界された後も、登山家の方やスキーのオリンピック選手などたくさんの仲間がお店に来ていたそうです。長い間、喫茶店を続けてこられた秘訣を聞くと「食べていくためだけよ。3人の子供を育てるために朝から晩まで必死で働いた。でも、ここにいればみなさんに会えるのがいい。悲しいことがあっても忘れられるから」とお話しいただきました。

今はモーニングからランチまでの営業で、名物の自家製ハンバーグランチはお味噌汁、小鉢、コーヒーゼリー、コーヒーまでついて1,000円。手作りのほっとする味でとても美味しくいただきました。

広報委員会 角田晴美



店名: チロル  
住所: 墨田区菊川2-9-12  
電話番号: 03-3631-6229  
営業時間: 月~金 7:00~13:30  
土曜日 8:00~12:00  
定休日: 日曜日

# 税務職員を装った不審な電話にご注意ください！



マイナンバー制度アンケート・年金受給調査と称する不審な電話が増えています！



国税局や税務職員を名乗る者から電話があり、マイナンバー制度アンケートや年金受給調査と称して、年齢や家族構成、年金の受給状況、預金残高や口座情報などについて聞き出そうとする事例が発生しています。

このような電話は、詐欺事件につながる可能性がありますので、ご注意ください。

※ 税務職員が納税者の皆様に電話でお問い合わせする場合は、提出していただいた申告書等を基にその内容をご本人に確認することを原則としております。

ご不審な点があるときは、即答を避け、最寄りの税務署または警察署にお問い合わせください。

詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。  
国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp>

 国税庁・国税局・税務署